

# ASAZOOクイズラリー

## レベル. 2

詳しく動物を知ろう！

もんだい 問題にでてくる動物の前に看板が置いてあります。

しっかり読んで、クイズに答えてね。正解に○をしてください。

問1 フラミンゴが野生で食べているものはなに？

プランクトン ・ 貝

問2 サバンナゾウは家族単位の群れをつくりますが、群れのリーダーとなるのはどっち？

雄 ・ 雌

問3 テンジクネズミの別名は？

マウス ・ モルモット

問4 ホンドタヌキの英語の名前の意味は？

アライグマのようなイヌ ・ 化かすアライグマ

問5 崖のくぼみなどで産卵するのはどっち？

トビ ・ ハヤブサ

答えは動物園の出口にあるよ。鉛筆をかりた人はそこで返してね。

こた かいせつ  
**答えと解説**

※↓の図は各動物舎に設置している看板です。

**答1 プラクトン**

フラミンゴのくちばしは首を曲げた時に水面と水平になるように曲がっています。このことで水中の小さなプラクトンを含む水を効率よくくちばしの中に入れることができ、くちばしのふちについている櫛状の「ラメラ」という構造でこしとって食べています。

フラミンゴ目 フラミンゴ科  
**フラミンゴ類**

アメリカ、アフリカ、ヨーロッパ、インドの熱帯から温帯に計5種がすみ、ここではチリーフラミンゴ、オオフラミンゴ、ペニイロフラミンゴ、コフラミンゴを展示している。  
 浅い塩水湖などに大きな集団で生活し、ケイ藻、ラン藻、動物プラクトン等をラメラと呼ばれるくしのような構造のくちばしでこして食べる。美しいピンクの体色は、食べ物に含まれる色素によって現れる。  
 水辺に密集して泥を固めた塚状の巣を作り、普通1個産卵する。子育ては、そのうち(食道の一部が膨らんだ消化器管)から分泌されるフラミンゴミルクを、ひなに口移して与えて行なう

**答2 雌**

サバンナゾウは経験豊富な雌をリーダーとする雌と子どもからなる群れで生活しています。その中で成長した雄は群れを出ていき、単独もしくは雄のみの群れをつくり暮らしています。

長鼻目(ゾウ目) ゾウ科  
**サバンナゾウ**

Savanna elephant  
*Loxodonta africana*

アフリカのサハラ砂漠以南の草原や林にすみ、雌がリーダーとなる家族単位の群をつくる。陸上にすみ動物の中では最大で、雄は5t以上に成長する。  
 木の葉などを食べ、1日16時間を採食に費やす。寿命は約50~70年、妊娠期間は約22~24ヵ月で1子を出産する。

**答3 モルモット**

「モルモット」とは日本にやってきたときに別種のマーモット(オランダ語でマルモット:marmot)と勘違いされて名付けられた日本語です。英語では「guinea pig(ギニアのブタ)」と呼ばれます。ギニア経由でヨーロッパに持ち込まれたためといわれています。

テンジクネズミ (げっ歯目 テンジクネズミ科)  
**DOMESTIC GUINEA PIG**

南アメリカに住むテンジクネズミを家畜化したもので、モルモットとも呼ばれる。ネズミの仲間だが尾はない。妊娠期間は約2ヶ月で、2~4頭の子どもを生む。子どもは生まれた時から毛が生え、目も開いている。約2ヶ月でおとなになり、6年ぐらい生きる。

**答4 アライグマのようなイヌ**

タヌキとアライグマは見た目がよく似ています。タヌキはもともと極東アジアにしか生息しない動物で、アライグマは北アメリカ大陸原産の動物です。英語圏の人々にとってはタヌキよりもアライグマのほうが身近で、イメージしやすいのかもしれませんが。

食肉目(ネコ目) イヌ科  
**ホンドタヌキ**

Japanese Raccoon Dog  
*Nyctereutes procyonoides viverrinus*

本州、四国、九州にすみ。果物、昆虫、ネズミなどを食べる雑食性。ペアが家族群で生活し、春に繁殖する。子育てには雄も参加し、子は秋ごろ親離れする。  
 英名は「アライグマのようなイヌ」の意味。日本には、ホンドタヌキのほかには北海道にすみエソタヌキの2亜種がいる。

**答5 ハヤブサ**

もともとハヤブサは山地や海岸などの断崖に営巣し、小型の鳥を捕食します。都市部には崖の形状の似た高層ビルがあり、またドバトやムクドリなどの餌となる鳥もいるので、ハヤブサがこれらの環境に適応し、生息することができると考えられます。

ハヤブサ目 ハヤブサ科  
**ハヤブサ**

Peregrine Falcon  
*Falco peregrinus*

南極を除く全世界に分布し、河川、湖沼、海岸などに広く生息する。主に体重1.8kg以下の鳥類を獲物とし、飛翔しながら後肢で捕える。急降下時の速度は時速290kmを超え、和名は「速い翼」が変化したとの説がある。  
 産卵は断崖のくぼみなどで行うが、近年では都会の高層ビルなどで営巣することもある。日本では3~4月に3~4個の卵を産む。主に雌が抱卵し、29~32日でふ化し、35~42日で巣立つ。  
 以前はタカの仲間とされていたが、最近の研究でタカよりもインコやスズメに近い仲間であることがわかった。